

JJA

地域とあゆむ

ならけん

4

THIS MONTH SPECIAL FEATURE

特集

『ストップ! TPP』に向けて引き続き取り組みます!!



未来に種をまこう



地域から元気発信 **今月のひと**
 踊り葉牡丹の研究に打ち込みながら
 高品質な花苗の栽培に取り組む
 松井栄治さん・万里子さん・平川真知子さん



JAならけん

『ストップ！TPP』に向けて 引き続き取り組みます！！

TPP断固反対

昨年3月の東日本大震災の発生から日本国内では、「絆」や「人と人とのつながり」といった根源的で人間的な暖かいものが重視されるようになってきました。しかし、そういった機運に逆行するように、TPP交渉の主導的役割を担っているとみられるアメリカとの関係改善という外交的配慮や経済的利益の追求といったものなどから昨年11月、野田首相は「TPP交渉参加に向けて関係国との協議に入る」と表明し、その後、ハワイでのAPEC首脳会議で、そのことを関係各国に伝えました。

私たちの生活に直結する食の安全や医療などといった国民生活にとって重要なものに大きな打撃を与え、ひいては先人より受け継いだ我が国の国土をも破壊するほどの大きな問題であるTPP交渉への参加が、JAグループなどの農林漁業団体や消費者団体などの反対、都道府県・市町村議会の多数の慎重・反対決議を無視し、十分な情報開示と



議論もなく決定されてしまったのです。これは断じて納得できるものではありません。

政府は現在、交渉参加に向けた協議を、外交機密を楯に水面下で進めているようですが、野田首相は交渉参加を表明した際、「各国が我が国に求めるものについてさらなる情報収集に努め、十分な国民的な議論を経た上で、あくまで国益の視点に立って、TPPについての結論を得ていく」と話しました。しかし今なお、十分な情報は示されていません。これでどのように

して国民的な議論ができるのでしょうか？

TPP参加9カ国は3月のオーストラリアでの会合に続き、5月にはアメリカで次回会合を予定しています。関係者は、事前協議の当面の大きなヤマ場を4・5月とし、特に5月の大型連休中とみられる野田首相の訪米と日米首脳会談の際に、TPP問題で何らかの言及があるとみています。

TPPとは

そもそも、TPPがもたらす危険とはどういったものが

▲3月13日には、東京都内でJA全中、全国農政連主催の『TPP交渉参加断固阻止全国要請集会』が開催され、下記の対応の徹底を政府に強く求めていくことを確認しました。

- 事前協議に臨む政府統一方針の確立
- 十分かつ正確な情報開示
- 公正・公平で広範な国民的議論の徹底
- 国益に即した判断基準の明示

TPP交渉参加国

- アメリカ
- オーストラリア
- ニュージーランド
- チリ
- シンガポール
- ブルネイ
- マレーシア
- ペルー
- ベトナム

※昨年11月には、カナダ・メキシコが交渉参加を表明し、日本も交渉参加に向けての協議に入りを伝えました。

あるのでしょうか？ここでは、基本に立ち返り、TPPとはどのようなものか、また、その国民生活に与える影響について述べていきます。

TPPとは、環太平洋連携協定の略称であり、太平洋をとりまく左図にある9カ国間の高いレベルのFTA（自由貿易協定）です。FTAは2国間または複数国間で、お互いの国の経済発展を尊重しあうかたちで合意されるものに対し、TPPは、重要品目の除外・例外扱いを認めず、全品目の関税を撤廃することで、より高い水準での自由化を促進するものです。

TPPでは、農業や工業、銀行・保険などの24の分野が

交渉の対象となつていきます。そのため、農業だけでなく、医療・金融・保険など幅広い分野に影響を与えるので、次に記すようなさまざまな負の事態の発生が懸念されるのです。

●日本がTPPに参加すると：

▼日本農業が壊滅

- ・ 農業生産が4兆1千億円減少
- ・ 主食の米が90%外国産に
- ・ 多面的機能3兆7千億円が喪失
- ・ 340万人の雇用喪失

▼食の安全行政が後退

- ・ 米国産牛肉の輸入規制を緩和
- ・ ポストハーベスト農薬の基準緩和
- ・ 遺伝子組み換え農産物の輸入拡大

日本の食品添加物基準を骨抜きに

▼地域医療が崩壊

- ・ 混合診療で保険外診療が拡大
- ・ 不採算地域から病院が撤退
- ・ 地方病院の医師不足が加速
- ・ 病院が患者を経済力で選別

▼地方経済が疲弊

- ・ 市町村発注の公共事業やサービス業務を開放
- ・ 地元の中小企業の仕事が減少

地方の雇用先が一段と減少

▼失業者が急増

- ・ 看護・介護に外国人が参入
- ・ 低賃金労働者が増加
- ・ 就職できない若者が増加
- ・ 日本人の賃金切り下げ

▼デフレ不況が深刻に

安い輸入品で物価が一段と下落

- ・ 労働者の賃金が減少
- ・ 需要の縮小・購買力の減退
- ・ 日本経済がデフレスパイラルに

▼狙われる日本企業

- ・ 外資は日本で自由に経済活動
- ・ 日本企業の買収・転売が容易に
- ・ 国の規制に外資が損害賠償請求

賠償支払いなら国民の負担増

▼世界の食・環境が悪化

- ・ 日本の輸入増で飢餓人口拡大
- ・ 遠距離輸送でCO2排出量が増大

・ 世界の水不足に拍車
・ 開発で生物多様性に悪影響
今後もTPP反対に
取り組みます

取り組みます

TPPに参加すれば、関税が撤廃され、我が国の農業は壊滅的な打撃を受け、現在39%と、主要先進国中最低レベルの食料自給率が13%までに低下するとの試算がされています。また、それにより、国土を守るなどの農業が持つ多面的機能も失われ、日本の国土も崩壊してしまいます。

一昨年より、当JAはTPP交渉参加反対に向けて、署名活動を展開するなどの反対運動に取り組んできましたが、今後も私たちJAは引き続き、日本農業を守るため、また、国民生活と美しい日本の国土を守るため、TPP交渉参加断固阻止に向けての活動に鋭意取り組んでまいります。



地域から

元・気・発・信

～ 今月の人 ～

北葛城郡広陵町大字中 松井^{えいじ}栄治さん(57) 万里^{まりこ}子さん(56) 平川^{まちこ}真知子さん(58)



【松井さん一家】
 右から
 長男…崇訓^{たかのり}さん(32)
 妻の姉…
 平川^{ひらかわ}真知子^{まちこ}さん(58)
 栄治^{えいじ}さん(57)
 妻…万里^{まりこ}子^こさん(56)

北葛城郡広陵町大字中は、北葛地区の広陵北支店管内。松井さん一家はこの地で、踊り葉牡丹の研究に打ち込みながら、高品質で市場からの評価も高い花苗の栽培に取り組んでいる。

踊り葉牡丹の研究に
 打ち込みながら
 高品質な花苗の
 栽培に取り組む

公務員から花苗の世界へ

広陵町大字中で花苗の栽培に取り組む栄治さんの農業歴は11年。かつて公務員をしておられたが、以前から花苗の栽培に興味を持っていただけから、早期退職して就農された。

もともと兼業で米を生産しておられたが、花苗に関しては何の知識もない状態から栽培を始めたという。多くの失敗をして、それらの失敗から栽培の秘訣を学んだと栄治さんは語る。

現在、栄治さんは精力的に花苗の栽培に取り組んでおられる傍ら、県などからの依頼を受けて花づくりの講師を務めるなど、多方面で活躍され



▲作業をする栄治さんら

ている。

ちなみに、北葛地区の支店感謝デーには、栽培した花を提供いただいている。

栽培規模

栽培面積は水稲、花苗、野菜の接ぎ木苗など、あわせて110a。花苗の栽培品種は「葉牡丹」「千日紅」「サルビア」「トレニア」「ジニア」「パンジー」「ビオラ」などで、栄治さんは、年間約60万ポットの花苗を、奥さんの万里子さんや、万里子さんの姉である眞知子さんとともに生産されている。

なお、出荷に関しては基本的には市場出荷だが、直接注文にも応じておられるとのこと。



▲ハウス内の様子

「踊り葉牡丹」の研究

現在、栄治さんが力を入れておられるのは、いくつにも分枝させた茎の先に艶やかな葉牡丹が付き、まるで葉牡丹が陽気に踊っているように見える「踊り葉牡丹」の研究。

栄治さんは自らの手で何度も交配をするといったオリジナルの育種を重ねるなど、市場からも高評価を得られる踊り葉牡丹の生産に向けた努力をされている。

このように、日々踊り葉牡丹の研究に取り組んでおられる栄治さんは、もともとパングジーやビオラを中心として栽培されていたが、農業経営を考えるうちに、また、踊り



▲栄治さんが栽培した踊り葉牡丹

葉牡丹の研究に打ち込むうちに、次第に踊り葉牡丹がメインになっていったとのこと。

花苗のサインを見極める

栄治さんが花苗栽培において特に気を配っているのは、肥培管理。花の種類や性質に応じた肥培管理をしっかりとすることで、花や葉に力強さを感じられ、さらに植えつけた後も元気に育つ花苗ができるのだという。

また、「朝早くにハウスに入り、花苗の様子をチェックすると、肥料や水の量が十分かなどが分かるように、花苗がサインを出しているんです」と話す栄治さんは、花苗栽培においてはそれらのサインの見極めが重要で、サインを見逃さないためにも、圃場の状態には常に気を付けておられる。

今後の抱負

「希望を言えば、後継者を育成して規模を拡大していきたいのですが、今の目標は現状維持です。また、常に市場から高評価を得られる花苗を、これからも作っていききたいですね」



郡山・生駒地区

西和地区青色申告会 適正な確定申告に取り組む

西和地区青色申告会（巳波元二会長）は、3月1日から6日まで、平群支店と斑鳩支店の2会場で平成23年度の確定申告を実施しました。

同申告会は、顧問税理士の協力のもと、電子申告システムによる確定申告に積極的に取り組んでいます。

「電子申告になって今まで以上に利便性が良くなった」という会員の声もあり、全会員が一丸となって適正な申告に取り組んだ結果、今年もスムーズに確定申告を終えることができました。



橿原・御所・高市地区

キッズくらぶで ロールケーキ作り教室を開催

橿原・御所・高市地区は3月10日、キッズくらぶ会員とその家族を対象に、御所営農経済センターの調理室でいちごのロールケーキ作り教室を開催しました。約80人が参加しました。

料理研究家のうのみきこ先生を講師に招いたこの教室では、奈良県特産のあすかルビーと米粉を使って、もちりとしたロールケーキを作ったほか、関東風の桜餅の「いちご入り焼き桜」も作り、みんなで美味しくいただきました。

参加者らは「こんなに簡単に出来るとは思わなかった。また家でも挑戦してみたい」と話していました。



奈良・天理・山辺地区

さらなる大和茶の発展をめざして 月ヶ瀬茶業振興大会開催

月ヶ瀬茶業振興協議会は3月7日、月ヶ瀬茶業振興大会を月ヶ瀬営農経済センターで開催しました。

大会では、今年度の全国、関西、県の各品評会の開催に尽力された方々への表彰が行われたほか、闘茶大会も行われ、団体は桃香野支部、個人は中垣儀隆さんが優勝されました。また「農産物の流通と販売、農業の6次産業化支援の観点から」「本年度の茶情勢について」と題し記念講演が行われました。

同振興協議会の井ノ倉清繁会長は「生産基盤の充実を図ると共に、安全・安心で消費者に喜んでもらえるお茶作りに努め、安定経営をめざしたい」と話していました。



桜井しき・宇陀地区

いろいろな料理に大活躍！塩麴作り

川西支店女性部は3月14日から3日間、同支店で塩麴を作りました。13人が参加しました。

塩麴は麴に塩と水を加えて作る万能調味料。肉や魚にすり込んで下味に使ったり、料理の味付けに使うと旨味が増すので、幅広く使えます。今回の作業で約25kgの塩麴が出来あがりました。

作業終了後の話し合いでは「来年度は塩麴を使った料理教室で野菜炒めやパン、お菓子を作りたい」という意見が出ました。

同女性部の木本美栄子部長は「塩麴を今後の料理教室に幅広く使いたい」と話しています。



五 條 ・ 吉 野 地 区

保育園児がジャガイモの 植え付けを体験

五條・吉野地区統括部は3月16日、花吉野えんめい保育園児51人を対象に、大淀町薬水の圃場でジャガイモの植え付け体験を開催しました。

この取り組みは、次世代を担う子供たちに食べ物への興味を持ってもらい、『食』の大切さと『農』の育てる楽しさを感じてもらうために催したものです。

園児たちはJA職員に植え方を教わり「おイモさんの種はおイモさんなんだね!」「おイモさんのベッドを作るんだね」と楽しみながら、約2aの圃場に種イモを植えました。夏には収穫体験も予定しており、収穫したジャガイモは、保育園の給食にも使われる予定です。



北 葛 地 区

種苗研究農場や直売所を視察 青壮年部北葛支部

青壮年部北葛支部は3月6日、県外視察研修として滋賀県にあるタキイ種苗研究農場やファーマーズマーケットおうみんちなどを視察しました。

部員らは、同研究農場で研究員よりハウレンソウやネギ等の品種の特徴や栽培ポイントの説明を受けた後、施設や圃場を視察。その後ファーマーズマーケットおうみんちを見学しました。

同支部の田仲清高支部長は「いろいろな地域の取り組みなどを視察研修して、農業の見識を深めることができました。

厳しい農業情勢ですが、積極的に活動を行い、北葛地区の農業を盛り上げていきたい」と話していました。



新たな取り引き先の拡大探る

近畿農政局などが主催し、当JAが協賛した、近畿の伝統農産物やこだわり農産物などをターゲットにした商談会が2月23日、ホテル日航奈良で開催されました。

この商談会には、当JAを含む生産者ら20団体と、食材を取り扱うバイヤーら16社が出席。生産者らは自慢の農産物をバイヤーにPRし、バイヤーらも取り扱いに向けた要望を伝えるなど、幅広く意見を交わし、取り引きの可能性を探りました。

当JA木村勤常務は「これからは農業の6次産業化は必要。JAとしても資金面・営農面の両面からサポートしていきたい」と話しています。



日頃の活発な活動を讃え 日本農業賞奈良県代表表彰式

JA奈良中央会とNHK奈良放送局は3月5日、第41回日本農業賞奈良県代表表彰式を当JA本店で開催しました。

今年度の農業賞には、個別経営の部で宇陀市の有限会社山口農園の山口武代表取締役が、集団組織の部では、葛城市のJAならけん葛城花卉出荷組合が奈良県代表として選ばれました。この日はこの2組の日頃の努力に対して表彰されたものです。

表彰式では、同中央会永田正利会長と同NHK泉谷八千代局長から、山口農園山口代表取締役の代理出席である山口貴義専務取締役と葛城花卉出荷組合西川隆則組合長に、賞状などが手渡されました。





営農情報

サトイモの栽培

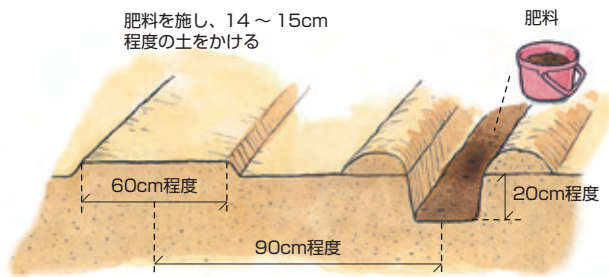
サトイモ科の植物で、筑前煮や白煮などの煮物のほかに、味噌汁の具材などでも利用されています。高温性で、生育適温は25～30度。乾燥に弱く、生育盛りの夏期に降雨が少ないと、減収となります。また、連作を嫌い、霜にも弱い作物です。



◆畑の準備

定植する2週間程度前に、

1aあたり堆肥を200キロ程度、苦土石灰を10キロ程度施用し、よく耕しておきます。



◆種イモについて

種イモは大きさ40～60グラム程度で、ふっくらとして形が整い、腐れや芽が傷みのない病気にかかっていないものを選びましょう。良い種イモを選ぶことが今後の生育に大きな影響を与えます。

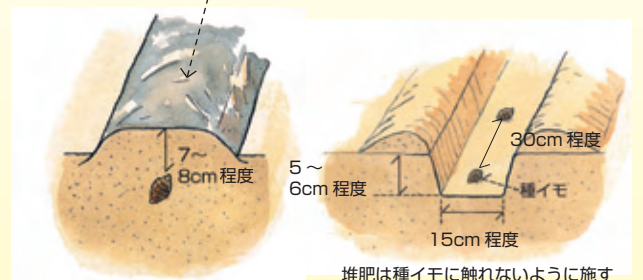
◆植え付け

植え付け時期は、4月下旬くらいが目安です。植え付けを行う1週間程度前に元肥として、1aあたり、CDUS682号ならば5キロ程度と、リンスタ130ならば4キロ程度を施し、畝を立てます。畝間に深さ5～6センチ程度の溝を掘り、30センチ程度の間隔で種イモの芽を上向きに置きます。置いたら、7～8センチ程度の覆土をします。



い病気にかかっていないものを選びましょう。良い種イモを選ぶことが今後の生育に大きな影響を与えます。

黒色のポリマルチ

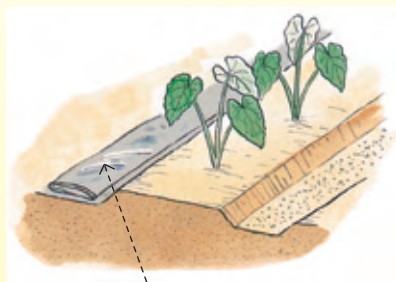


堆肥は種イモに触れないように施す

植え付け後、黒色のポリマルチを施しておきます。マルチに芽が触れそうになったら、マルチを切り、芽を外に出します。

◆土寄せと追肥

大きく育ったら、マルチは取り除きましょう。



大きく育ったらマルチは取り除く

JA ならけんカレンダー

4月 April

● 法 法務相談 ● 税 税務相談 ● 年・ロ 年金・ローン相談会 ● A Aコープ催し ● 催 各種催し等
 *法務、税務の相談は、最寄りの支店で予約下さい(予約は5日前まで)。

1 日	A 日曜特販	16 月	A 月曜100均
2 月	A 月曜100均	17 火	
3 火		18 水	● 奈良市柏木支店 10:00~ ● 新庄中央支店 13:30~ ● A 均一祭
4 水	A 水産大市	19 木	● 五條・吉野地区女性部グラウンドゴルフ大会 ● 阿太峯公園 10:00~ ● A 均一祭
5 木		20 金	A お買い得セール
6 金	A 会員感謝セール得の市	21 土	
7 土	A エコープ近畿誕生祭	22 日	A 日曜特販
8 日		23 月	● 法 織田支店 13:00~ ● A 月曜100均
9 月	A 月曜100均	24 火	
10 火	● 税 織田支店 13:00~ ● 法 新庄中央支店 14:00~	25 水	● 法 新庄中央支店 14:00~ ● 法 京阪神地区中央卸売市場 臨時休場日 ● A GW前のお買い得市
11 水	● 法 京阪神地区中央卸売市場 臨時休場日 ● A 創力祭	26 木	
12 木		27 金	● 法 奈良市柏木支店 13:30~ ● A 得ダ値祭
13 金		28 土	● 年・ロ 郡山支店・あすか支店 10:00~16:00 ● A 肉の日
14 土	● 催 春の総合展示会 樺井宮農経済センター 14日 9:00~17:00 15日 9:00~16:00 ● A 全農フェア	29 日	A 肉の日
15 日	A リーフクラブ会員デー	30 月	A 月曜100均

【お知らせ】
 奈良県下のAコープ店舗(青山店・下市店を除く)では、クレジットカード、電子マネー"Edy"でのお支払いが可能です。

5月 May

1 火		6 日	
2 水	A 創力祭	7 月	A 月曜100均
3 木		8 火	
4 金		9 水	● 法 京阪神地区中央卸売市場 臨時休場日 ● A お買得「丼」セール
5 土	● 法 京阪神地区中央卸売市場 臨時開場日 ● A GW焼きヤキセール	10 木	

ATM 休止のお知らせ (5月分)

一部のATMについて、新機種へ入れ替えのため、下記の日程(時間帯:8:00~15:00頃)によりATMを休止致します。

お客様には何かとご不便をおかけ致しますが、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。
 なお、ご不明な点につきましては、各支店窓口までお問い合わせください。

入替日			対象ATM (CC:キャッシュコーナー)			入替日			対象ATM (CC:キャッシュコーナー)		
5	7	月				5	21	月			
	8	火	矢田支店	斑鳩支店			22	火	川西支店	安堵支店	久度 CC
	9	水	昭和支店	田原支店	山添支店		23	水	織田支店	安倍 CC	三輪支店
	10	木	櫛本支店	水間 CC	辰市 CC		24	木	大福支店	粟殿 CC	イオン 桜井店 CC
	11	金					25	金			
	12	土					26	土			
	13	日					27	日			
	14	月					28	月			
	15	火	Aコープハート フルめぐり CC	生駒支店	筒井 CC		29	火	大宇陀支店	川東支店	伊那佐 CC
	16	水	北倭支店	三郷支店	平和支店		30	水	宇陀大正 CC	三宅支店	榛原 CC
	17	木	多支店	三郷駅前 CC	平和団地 CC		31	木			
	18	金									

*都合により作業日程が変更となる場合があります。

【お詫びと訂正】

3月号6ページに掲載致しました「おしらせ広場 共済事業」記事の内容に誤りがありました。

3月号広報誌記載内容

「事故の相手方(加害者)が自転車の事故:自転車対自転車、自転車対歩行者などのケースでは自賠償は適用されません。相手によっては最低限の賠償さえ受けられないおそれもあります。そんな時には、この保障が大きな力になります。」

右記の記載では相手方が自転車の場合、人身傷害の保障を受けられるとの表現になっておりますが、正しくは、相手方が自動車(原付含む)による事故の場合に人身傷害の保障を受けます。

従いまして、相手方が自転車の場合は、人身傷害の保障を受けることが出来ません。

また、掲載致しました図表に左記の誤字がありました(誤) □一般用自転車共済 (正) □一般用自動車共済

深くお詫び申し上げますとともに、訂正をさせていただきます。

緊急連絡先・フリーダイヤル

	電話番号	時間
キャッシュカード紛失・盗難 (お取引店または右記までご連絡下さい)	0742-27-4058(事務部為替課)	平日 8:00~17:00
	0743-56-5413(電算部運用課)	平日 17:00~翌日8:00 土・日・祝 24時間受付 (ただし、夜間の場合JAバンク・キャッシュカード紛失共同受付センターに転送されます)
クレジットカード(JAカード)紛失・盗難 (お取引店または右記までご連絡下さい)	0120-159674	24時間365日対応
JA共済 自動車事故相談窓口	0742-27-4560(北和自動車事故相談センター)	平日 8:30~17:00
	0744-22-8748(南和自動車事故相談センター)	平日 8:30~17:00
	0120-258931 (JA共済事故受付センター)	24時間365日対応
ガス漏れ等の緊急連絡	0120-182571	24時間365日対応
セレモニーホール榎原	0120-062138	24時間365日対応
セレモニーホール吉野	0120-205983	24時間365日対応
営農相談窓口	0120-630301	8:30~17:00 土・日曜日以外の祝日は休業